

第3期米沢市教育・文化計画の施策体系における現状と課題（社会教育課）

◎ 基本方針2 生涯にわたり学べる環境づくりの推進

○ 生涯の各期における学習機会の充実

【主な実施事業、現状】

- ・各コミセン、中央公民館、青年の家、児童会館、鷹山大学等であらゆる年齢層を対象に、様々な分野の講座を開催している。
- ・内容により参加人数が左右されている。市民おしゃうしなカレッジ講座では50代、60代、70代の参加が多く、参加者の高齢化が進んでいる。

【課題】

- ・市民の深いニーズを把握し、講座の内容、開催時期について検討が必要である。
- ・若い世代の参画を促し、今後の学習機会拡充の新たな枠組みを作っていく必要がある（SNSを活用した情報提供など）。

○ 大学との交流や連携の促進

【主な実施事業、現状】

- ・山形大学工学部、米沢女子短期大学に委託し、市民公開講座を実施している。

【課題】

- ・市民への周知方法の検討。受講者の年齢・性別の隔たりの改善。

○ 地域コミュニティ活動の支援

【主な実施事業、現状】

- ・コミセンを中心に各地域で「まちづくりや実行委員会の組織」を立ち上げ、コミセン事業や中央公民館事業等でバックアップ体制をとっている。文化祭、運動会、敬老会、雪まつり、座談会、青少年育成市民会議、小さな親切、子ども会、花いっぱい運動など。
- ・まちづくり人財養成講座を開催し、まちづくりに主体的にかかわる人財の発掘と育成に努めている。

【課題】

- ・生涯学習を通し、社会参加のきっかけづくり、コミュニティづくりなど、まちづくりに積極的に関わりを持とうとする人づくり、リーダーや後継者養成等が課題である。
- ・まちづくり等に興味のない人達に興味を持たせ、参加のきっかけをつくることが難しい。

○ コミュニティ活動の拠点整備

【主な実施事業、現状】

- ・老朽化が進むコミュニティセンターの建て替えや改修等を行い、各地区の拠点整

備を行っている。（上郷、窪田、田沢建設中）

【課題】

- ・改築整備計画を定め、施設の更新、統廃合、長寿命化を図る必要がある。

◎ 基本方針3 子どもたちが健やかに成長する環境づくりの推進

○ いのちの教育・心の教育の推進

【主な実施事業、現状】

- ・「いのちの尊さ・大切さ」を知り感謝の気持ちを育むことを目的に赤ちゃんとのふれあい体験事業を、市内全中学校と高校において実施している。

【課題】

- ・子供たちの直接体験の機会拡充。

○ 家庭・学校・地域との連携強化

【主な実施事業、現状】

- ・家庭・学校・地域との連携・協働を図り、子どもを地域で見守り育てる環境を作る取り組みとして、「放課後子ども教室（関小学）」「地域学校協働本部（愛宕小学校）」「幼稚園・保育園・小学校での保護者向け家庭教育講座」「補導員による街頭補導活動」等を実施している。

【課題】

- ・自然体験、農業体験、炊飯体験、伝承行事や伝統芸能の体験など直接体験の機会拡充が必要。
- ・子どもたちの活動の場がネット上に移行しており、様子が目に見えなくなっていることから、家庭・学校・地域とも連携し、スマホ、SNSを活用についての学習の実施が必要。

◎ 基本方針6 多様な文化とつながり、交流するまちづくりの推進

○ 国際交流・国際理解を促進する事業の拡充

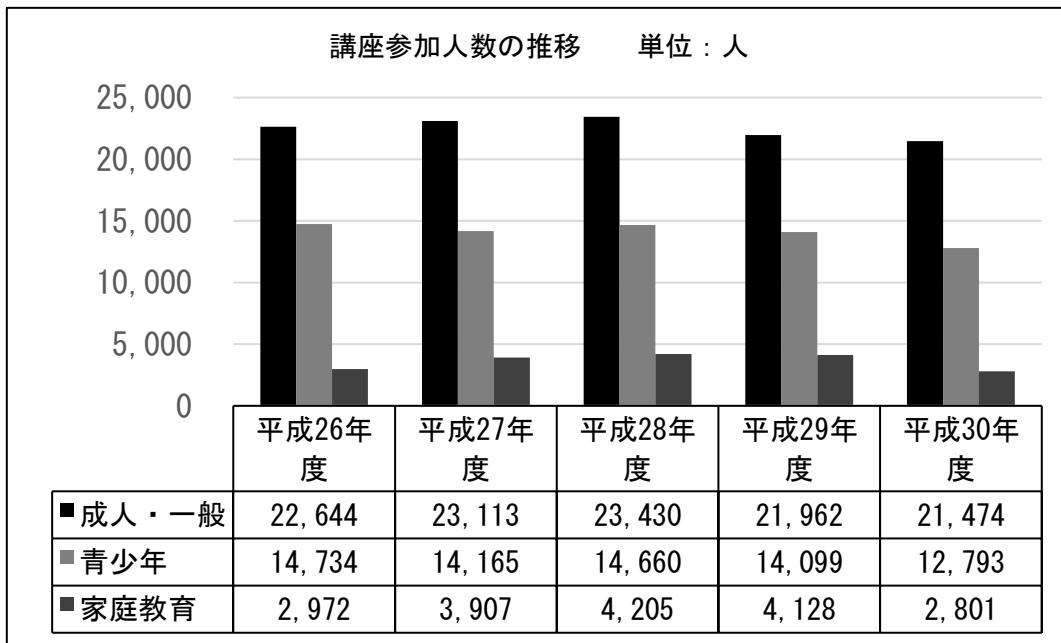
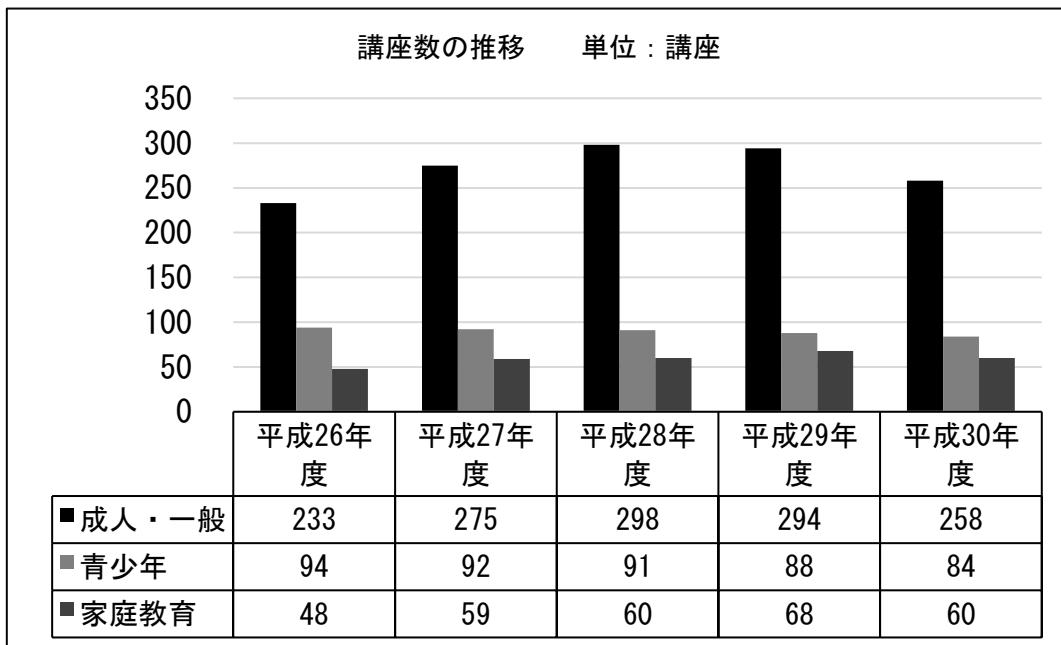
【主な実施事業、現状】

- ・海外派遣事業を廃止し、1泊2日のイングリッシュ・キャンプを開催。市内在住のALTや留学生の協力を得て本格的な異文化体験や英語学習の機会の提供している。

【課題】

- ・異文化体験や英語学習の機会を多くの子どもたちに体験してもらうための周知方法、市内在住の外国出身者や大学生の協力を得るための手段を考える必要がある。

社会教育関連 講座数及び講座参加人数 年度別比較表（平成26年度～30年度）



成人一般を対象とした学習事業……出前講座を含む

青少年を対象とした学習事業……放課後子ども教室を含む

家庭教育を対象とした学習事業……やまがた子育ち講座、幼児共育ふれあい広場を含む

【講座の内容で多い分野】

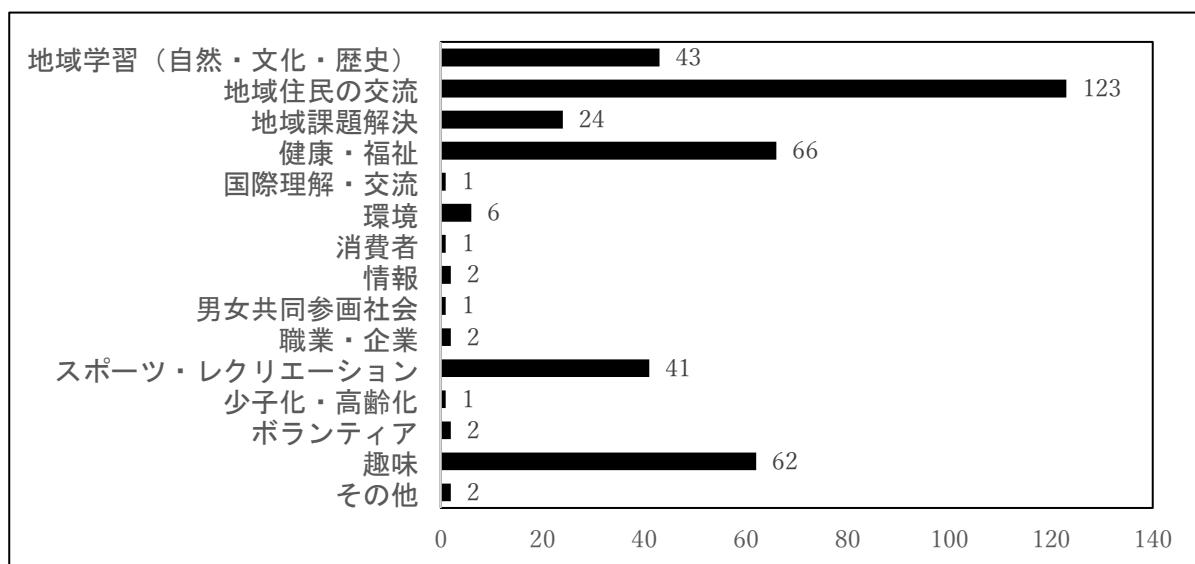
成人一般：地域住民の交流、健康・福祉、趣味の講座

青少年：自然・社会・文化等の体験、地域住民の交流の講座

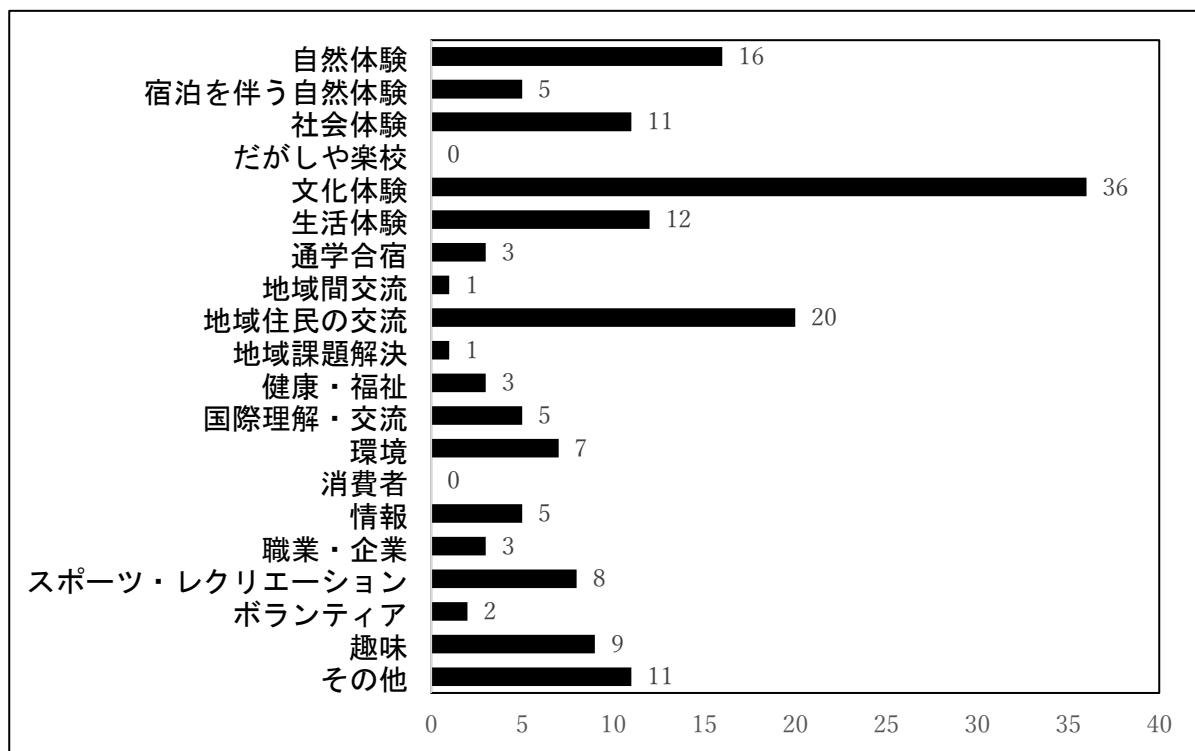
家庭教育：親子のふれあい、子供への接し方

平成30年度 講座内容別件数

<成人・一般> 377講座



<青少年> 158講座



<家庭教育> 55講座

